

## 別紙様式 2

## 令和5年度「レクリエーションの森」年間活動実績

屋久島レクリエーションの森保護管理協議会

## 1 施設等の整備等

番号	施設名	林小班	面積	工種	施設の概要	設置主体名	備考
	なし						

## 2 森林の景観対策等

作業名	林小班	面積	作業の目的等	実施主体等
なし				

## 3 その他

安全対策	<p>① 新型コロナウイルス感染症拡散防止対策の励行。 (受付に飛沫防止フィルムの設置又は受付職員のマスク着用、受付に消毒液の設置の励行等)</p> <p>② 協議会職員による巡視。(歩道・危険木・手摺り・ロープ等の安全点検並びに日誌への記載)</p> <p>③ 現地及び案内板に危険場所の明示。</p> <p>④ 入口で利用者への注意喚起。</p> <p>⑤ 危険木、倒木の措置。</p> <p>処理 No.1・・・対象木の場所 ; ヤクスギランド30分コース林泉橋上方 発見年月日 ; 以前から要観察の枯木 樹種 ; ツガ(枯木) 直径約 80cm 措置日 ; 令和 5年 7月18日 撤去者 ; 株式会社屋久林</p> <p>処理 No.2・・・対象木の場所 ; ヤクスギランド30分コース 千年杉上の歩道先の分岐上方 発見年月日 ; 以前から要観察の枯木 樹種 ; スダジイ(枯木) 直径約 25cm 措置日 ; 令和 5年 7月18日 撤去者 ; 株式会社屋久林</p> <p>処理 No.3・・・対象木の場所 ; ヤクスギランド 210分コース⑮邪紋杉と⑯天文の森の中間辺り歩道登り右 発見年月日 ; 以前から要観察の枯木 樹種 ; ヤマグルマ(枯木) 直径約 40cm 措置日 ; 令和 5年 7月18日 撤去者 ; 株式会社屋久林</p> <p>処理 No.4・・・対象木の場所 ; ヤクスギランド150分コース 沢津橋と仏陀杉の中間辺り(⑬) 発見年月日 ; 以前から要観察の枯木 樹種 ; ヤマグルマ(枯木) 直径約 40cm 措置日 ; 令和 5年 7月18日 撤去者 ; 株式会社屋久林</p> <p>処理 No.5・・・対象木の場所 ; ヤクスギランド30分コース 双子杉近辺 歩道上方 発見年月日 ; 以前から要観察の枯木 樹種 ; ヤマグルマ(枯木) 直径約 50cm 措置日 ; 令和 5年 7月18日 撤去者 ; 株式会社屋久林</p> <p>処理 No.6・・・対象木の場所 ; ヤクスギランド30分コース くぐり杉手前(順路上) 歩道上方 発見年月日 ; 以前から要観察の枯木 樹種 ; ヤマグルマ(枯木) 直径約 40cm 措置日 ; 令和 5年 7月18日 撤去者 ; 株式会社屋久林</p> <p>処理 No.7・・・対象木の場所 ; 白谷雲水峡 雲水歩道③と④の間 発見年月日 ; 以前から要観察の枯木 樹種 ; タブノキ(枯木) 直径約 25cm 措置日 ; 令和 6年 2月 6日 撤去者 ; 株式会社屋久林</p> <p>⑥ 防犯カメラの作動(両地区入口、H28、1月～)</p> <p>⑦ AEDを両管理棟と白谷避難小屋に常設。 (ヤクスギランドH28,4～、白谷同年6月～、白谷避難小屋同年7月～)</p> <p>⑧ 事務所・両地区管理棟・白谷避難小屋間で交信できる無線の常設。 [ 事務所・白谷間の現在の通信システムH25,11月～、ヤクスギランド間の追加,R元7月～ 白谷避難小屋追加R3,7月～。 ※ システム名 ; 地域振興用陸上移動通信基地局通信システム ]</p> <p>⑨ ヤクスギランド森泉、白谷管理棟、白谷避難小屋に非常食・備蓄水の常設。 (3施設ともR元,9月～、各施設に非常食45食(5人×3食×3日)、備蓄水2ℓ×12本)</p> <p>⑩ 台風6号被害によるヤクスギランド清涼橋橋梁安全点検の実施 清涼橋安全点検実施日 ; 令和 5年 11月 10日 点検者 ; 株式会社 山文 福岡支店</p>
受益者負担 の収受・活用	<p>① 収受 ; 英語版・韓国語版・中国語簡体字版・同繁体字版を含むリーフレットの配布。 絵葉書付きチケット(領収書兼用)の配布。</p> <p>② 活用 ; 遊歩道等施設の維持補修、リーフレット白谷雲水峡日本語版 10万部印刷、 ヤクスギランド個人用チケット 5万部・白谷雲水峡個人用チケット10万部印刷 トイレの維持管理。(両地区トイレ及び同仮設トイレ)</p>
ソフト対策	<p>① 屋久島世界自然遺産登録30周年記念夏休み親子森林教室の実施は、7月30日に計画したが、 当日雨天(雷注意報発令)につき中止。</p> <p>② 屋久島世界自然遺産登録30周年記念レク森小中作文展の実施。 ア、募集期間 令和 5年 9月 1日～令和 5年 10月 2日</p>

ソフト対策	<p>イ、学校別応募作品数</p> <p>i 応募総数；町内 2中学校より 134作品、7小学校より 44作品、計 178作品。</p> <p>ii 学校別内訳；中央中学校 121、岳南中学校 13、永田小学校 14、一湊小学校 8、宮之浦小学校 7、小瀬田小学校 9、安房小学校 4、神山小学校 1、八幡小学校 1。</p> <p>ウ、審査機関</p> <p>i 一次審査；レク森協議会 ii 二次審査；中央中学校(国語科教諭) iii 三次審査；林野庁屋久島森林管理署、同屋久島森林生態系保全センター、環境省屋久島自然保護官事務所。</p> <p>エ 展示</p> <p>i 屋久島環境文化村センター交流ホール；12月 1日～12月 14日</p> <p>ii 総合センター(安房)ロビー；12月 17日～12月 27日</p> <p>iii 全作品、入賞者のレク森HP掲載；令和 6年 2月 1日</p> <p>③ 白谷避難小屋の維持管理及び同トイレし尿の搬出。(搬出回数 20回、総搬出量、6,760ℓ) (参考：前年搬出回数 19回、同総搬出量 5,200ℓ)</p> <p>④ ホームページの更新。(随時)</p> <p>⑤ 多言語おもてなしタグの常設。(ヤクスギランド、平成29年度園内36ヶ所の看板に設置)</p>
その他特記	<p>① 歩道(登山道)の補修。</p> <p>② サポーター(アサヒビール(株))との共同ボランティア活動については、令和 5年11月18日に計画したが荒天により船便欠航が予測されたため、前日に中止。</p> <p>③ 屋久島世界自然遺産登録30周年記念携帯トイレ試験運用の実施。</p> <p>ア、試験運用の内容</p> <p>I 避難小屋の既存トイレを閉めて、小屋内にテント型携帯トイレブースと便座を男女各2セット設置。</p> <p>II 携帯トイレ利用の呼び掛けと使用希望者に携帯トイレの無料配布。</p> <p>III 携帯トイレ使用方法のレクチャー。</p> <p>IV アンケート調査協力の呼び掛け(回収は管理棟)。</p> <p>V 使用後の携帯トイレを各自で管理棟前の回収ボックスまで運搬依頼。</p> <p>イ、実施期日と参加者数の状況</p> <p>I 実施日1日め；令和 5年12月 9日 入林者数；83名、 ・避難小屋で携帯トイレを配布した数 11個(内管理棟で回収した使用済の数 9個、利用率10.8%)</p> <p>II 実施日2日め；令和 5年12月10日 入林者数 116名、 ・避難小屋で携帯トイレを配布した数 15個(内管理棟で回収した使用済の数 12個、利用率10.3%)</p> <p>III 2日間合計 入林者数 199名、配布数26個(内管理棟で回収した使用済の数 21個、利用率10.6%)</p> <p>ウ、関係機関との打ち合わせ会等</p> <p>打合せ会 令和 5年11月30日 於；役場議会第一委員会室 参加者；11名</p>
すべき事項	<p>④ 携帯トイレ両地区園内利用普及の推進。</p> <p>・白谷については、令和 5年 3月に2箇所(⑬奉行杉コース分岐、辻峠の岩屋手前)に新設した携帯トイレブース(テント型)及び避難小屋前の既存の木製ブースを補修して、その利用を呼び掛け携帯トイレを推進。令和 5年度白谷雲水峡の販売数；1個入 32袋、2個入 58袋、計 90袋 (参考；R4年度 1個入 18袋、2個入11袋、計 29袋、R元年度 1個入 11袋、2個入46袋、計 57袋)</p> <p>・ヤクスギランドについては、携帯トイレブースを 2箇所(天文の森、つつじ河原東屋近辺。)新設の予定で令和 5年 5月29日関係機関と場所の選定を行った(参加者9名)が、諸事情により、次年度移行に延期、既存の木製携帯トイレ利用の推進。 令和 5年度ヤクスギランドの販売数；1個入 26袋、2個入 97袋、計 123袋 (参考；R4年度 1個入 14袋、2個入70袋、計 84袋、R元年度 1個入 8袋、2個入36袋、計44袋)</p> <p>⑤ 屋久島山岳部保全利用協議会及び屋久島町エコツーリズム推進協議会との連携。 白谷雲水峡から奥岳へ登山されるお客様に「世界自然遺産屋久島山岳部環境保全協力金の声掛けを行う。</p> <p>⑥ 職員の救命処置(心配蘇生法、AED)研修の実施。 実施日；令和 5年4月12日、場所；役場議会棟屋久島ホール 講師；屋久島北分遣所職員 参加者数；8名</p> <p>⑦ 両地区に仮設トイレの設置。(各3基、ヤクスギランド H 30.3月～、白谷同年 6月～)</p> <p>⑧ 図書「屋久島で使える手作り図鑑」の販売。(H 29.4月～、R5年度販売数 57冊) ア、ヤクスギランド売店での販売数；39冊 イ、白谷雲水峡での販売数；11冊 ウ、事務局での販売数；7冊 エ、販売総数；57冊</p> <p>⑨ 第35回森林レクリエーション地域美しの森づくり活動コンクールに応募「全国森林レクリエーション協会会長賞」受賞；永年継続して取り組んできたオフシャルルサポーターアサヒビール(株)との森林環境整備ボランティア活動が高評価を受ける。 表彰式；同協会通常総会において令和5年6月1日(水)、東京都文京区林野会館、事務局員出席。</p>